取り付け手順

B+COM SB5Xの音質性能を最大限発揮させるには、取付位置が重要です。

⚠ 装着時の注意点 ●このクイックマニュアルおよびヘルメットの取扱説明書に従って作業を行ってください。 ●内装が脱着できるヘルメットは、耳に当たる部分の内装(チークパッド)を外しておくと、作業がスムーズに進みます。 ●接着シートで貼り付けるパーツは、取り付け位置を仮決めして、操作に支障がないことを確認した後、接着面の清掃、脱脂を行ってから貼り付けてください。 ●余った配線は、傷つけないようヘルメットの帽体と内装の間に入れてください。 ●作業終了後、配線接続の最終確認をしてから動作確認を行ってください。 ●ヘルメットにより簡単に取付できない場合がございます。その場合はヘルメットをご購入された販売店様へご相談ください。(ヘルメットを加工する場合、お客様の自己責任の上で、加工、装着を行ってください。)

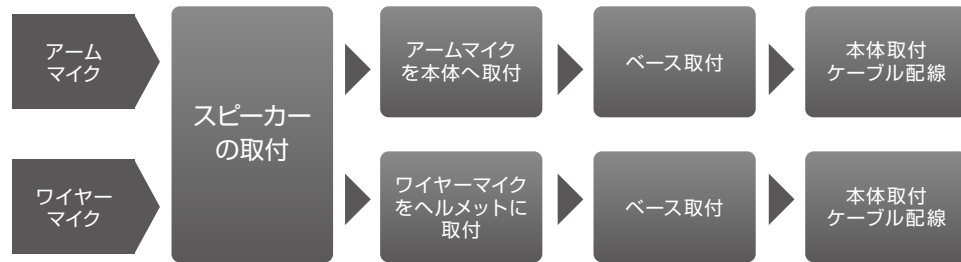
STEP1 ヘルメットに合うマイクと、取り付け手順を確認しよう

Ⅰ ヘルメットの種類に合わせてマイクを選びます。

	フルフェイスタイプ	システムタイプ	スポーツジェットタイプ	ジェットタイプ
アームマイク	△	△	○	○
ワイヤーマイク	○	○※	○※	×

※チークパッド内に入るタイプのみ

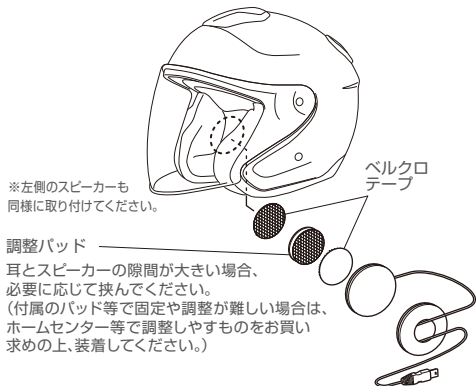
Ⅱ マイクの種類に合わせて順番に取り付けます。

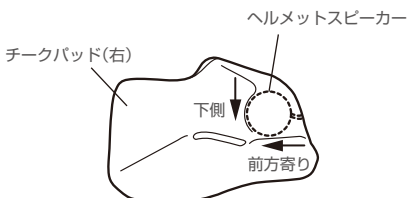
- アームマイク → スピーカーの取付 → アームマイクを本体へ取付 → ベース取付 → 本体取付 ケーブル配線
- ワイヤーマイク → スピーカーの取付 → ワイヤーマイクをヘルメットに取付 → ベース取付 → 本体取付 ケーブル配線

STEP2 スピーカーを取り付けよう

イヤースペースが見えるタイプ(SHOEI社製、ジェットタイプなど)

ベルクロテープをスピーカー設置場所のヘルメット面にループ側、スピーカーの裏面にフック側を貼り付けスピーカーを固定します。

※左側のスピーカーも同様に取り付けてください。

調整パッド
耳とスピーカーの隙間が大きい場合、必要に応じて挟んでください。
(付属のパッド等で固定や調整が難しい場合は、ホームセンター等で調整しやすものをお買い求めの上、装着してください。)

チークパッド のイヤースペースが布で覆われ、脱着できるタイプ(Arai社製など)

チークパッドを取り外し、布の中へスピーカーを入れてベルクロテープで固定してください 。

スピーカーはイヤースペースの下側、前方寄りに取り付けてください。
・耳の穴とスピーカーの中心が合いやすくなります。
・上側の耳たぶのスペースが空くので耳が押されにくくなります。

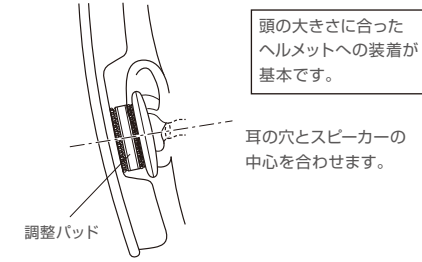
※ジェットヘルメットなどのヘルメットは外音が入ることが多く、フルフェイスタイプと比べると音質が劣る傾向になります。また、フルフェイスタイプであってもシールドの半開きやエアインテークの開閉状態により外音の入り込みが大きくなり、本来の音量、音質が得られない場合があります。

重要 POINT

取り付ける前に本来の音量・音質を確認しましょう!

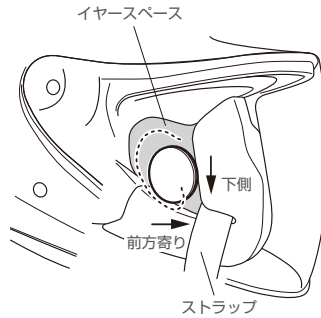
スピーカー単体を耳にあて本来の音量や音質を確認しておきましょう。ヘルメットを被った際、ほぼ同じように聴こえることが重要です。位置が適正でないと、「耳が痛い」、「スピードを上げると聴こえない」、「(音量を上げると)ノイズがひどい」といった症状になります。

頭の大きさに合ったヘルメットへの装着が基本です。

耳の穴とスピーカーの中心を合わせます。

耳にやさしくフィットするよう調整パッドで隙間を調整してください。

●隙間が大きい→
本来の音量、音質が得られない可能性があります。

●耳の中心からずれている→
本来の音量、音質が得られないだけでなく、長時間の使用で耳が痛くなる可能性があります。(特に耳の上部)

スピーカーはイヤースペースの下側、前方寄りにストラップの付け根に寄せるように取り付けてください。
・耳の穴とスピーカーの中心が合いやすくなります。
・上側の耳たぶのスペースが空くので耳が押されにくくなり使用中に耳が痛くなりにくくなります。

STEP3 ワイヤーマイクを取り付けよう

ワイヤーマイク

チンガード部の口元に接着シート付きのワイヤーマイク用スポンジを貼り付けます。なるべく下からの巻き込み風が少ない位置に設置してください。

ワイヤーマイクはヘルメット帽体(外装)とチークパッド(内装)の隙間からケーブルが出るように配線し、マイクスポンジのスリットにマイクを挿入します。

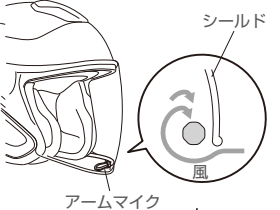
システムヘルメットや頬パッドの外布が外れるスポーツジェットの場合

システムタイプ/スポーツジェットタイプのヘルメットでは、シールドの開閉時にマイクが邪魔にならず快適な使用感を得られます。
マイクの位置は頬とスポンジに挟まれるできる限り口元に近い位置に入れます。
※スポーツジェットの場合、アームマイクに比べ声を拾う大きさは小さくなります。

アームマイクを取り付けよう

アームマイク

本体のマイクJACにアームマイクを

マイクを取外す際は、下図[illegible]うに親指を[illegible]。

シールド
風
アームマイク
アームマイク用スポンジ
1～2cm 程度

使用中にエアインテークやシールドなどで流速の早い風が通る場合、風切り音となって大きいノイズが相手に聞こえてしまう場合があります。

マイクは、シールドの中に入るよう淵から離し、図のように口元に位置を合わせます。
口元に合わせる際は無理に曲げたり引っ張ったりしないように注意してください。落下の原因となります。

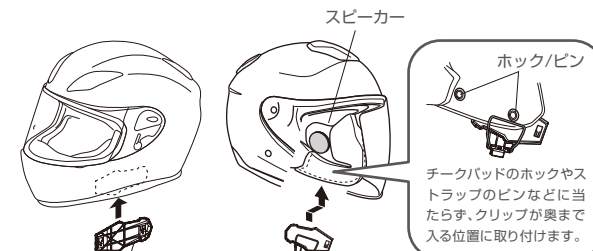
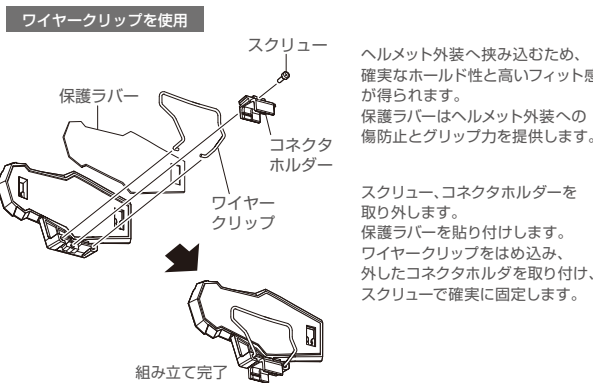
●マイク用スポンジは必ず使用。物理的に風切り音を軽減します。
●タンデム時、パッセンジャーはライダーからの巻き込み風がヘルメットに強く当たりノイズとして相手に大きく聞こえる場合があります。(シールド半開き時は特に増大します)

STEP4 ベースを取り付けよう

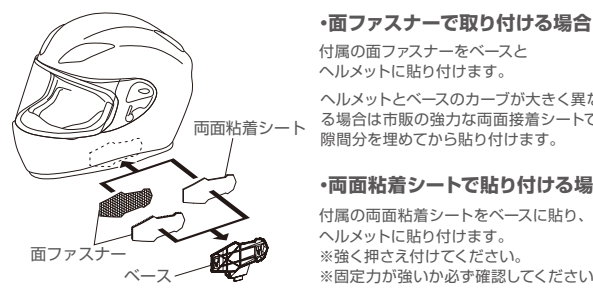
ベースの取付方法は3種類ありますので、ヘルメットの仕様や使い勝手により取付方法をお選びください。
また、アーム型マイクを使用する場合は、マイクが口元の位置にくるようにアームの長さを考慮の上、ベースの位置を仮決めしてください。

ワイヤークリップを使用

ヘルメット外装へ挟み込むため、確実なホールド性と高いフィット感が得られます。
保護ラバーはヘルメット外装への傷防止とグリップ力を提供します。

スクリュー、コネクタホルダーを取り外します。
保護ラバーを貼り付けします。
ワイヤークリップをはめ込み、外したコネクタホルダを取り付け、スクリューで確実に固定します。

ヘルメットの帽体と内装の間にクリップを下から挟み込みます。

貼り付けて使用

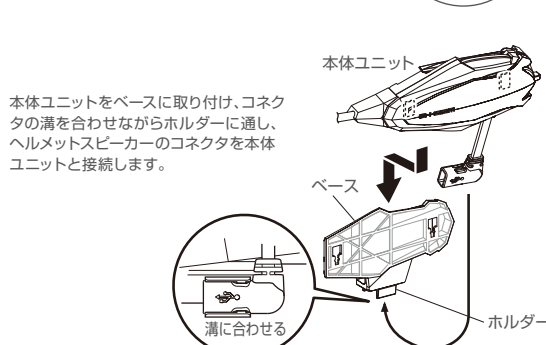
⚠ 貼り付けする面は必ず脱脂を行ってください。
⚠ 貼り付け後、約12時間保管しご使用ください。

・面ファスナーで取り付ける場合
付属の面ファスナーをベースとヘルメットに貼り付けます。
ヘルメットとベースのカーブが大きく異なる場合は市販の強力な両面接着シートで隙間分を埋めてから貼り付けます。

・両面粘着シートで貼り付ける場合
付属の両面粘着シートをベースに貼り、ヘルメットに貼り付けます。
※強く押さえ付けてください。
※固定力が強いか必ず確認してください
※Rが強い面には不向きです

STEP5 本体を取り付けよう

⚠ 取付・取外時、折り曲げ、引っ張り厳禁!

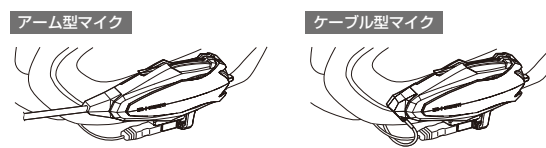
本体ユニットをベースに取り付け、コネクタの溝を合わせながらホルダーに通し、ヘルメットスピーカーのコネクタを本体ユニットと接続します。

本体ユニット
ベース
溝に合わせる
ホルダー

⚠ 本体ユニットから出ているUSBコネクタはやさしく扱ってください。過度な力をかけると断線します。また、必ず固定してください。

STEP6 ケーブルを配線しよう

ワイヤーマイクと本体ユニット間のケーブル、ヘルメットスピーカーと本体ユニット間のケーブルは、内装とヘルメット帽体の間に通してください。クラシックジェットタイプ等内装が外せない場合は、ヘルメット淵の帽体と内装の間にケーブルを傷つけないように押し込んでください。

アーム型マイク

ケーブル型マイク

それでもわからない場合は!
サインハウスカスタマーサポートをご利用ください!

お 電 話 で 03-5483-1711
インターネットで www.bluetooth-intercom.jp

SYGN HOUSE
B+COM
Bluetooth Communication system
B+COM ブルートゥースコミュニケーションシステム
TYPE:SB5X
クイックマニュアル
Bluetooth
15.06
セット内容
製品パッケージには以下のパーツがセットされています。ご使用前にすべてが揃っていることをご確認ください。万が一不足がございましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。
※カッコ内は「ペアユニット」にセットされている数量です。
● SB5X 本体ユニット ×1台（2台）
● アームマイク ×1本（2本）
● ワイヤーマイク ×1本（2本）
● ベースプレート ×1個（2個）
● マイクレスキャップ ×1個（2個） ※本体に装着梱包
● アームマイク用スポンジ ×1個（2個）
● ワイヤークリップ ×1枚（2枚）
● ワイヤーマイク用スポンジ ×1個（2個）
● 保護ラバー ×1枚（2枚）
● 面ファスナー ×1枚（2枚）
● スピーカー固定用調整パッド ×4枚（8枚）
● 両面粘着シート ×1枚（2枚）
● スピーカー固定用 ベルクロテープ×2枚(4枚)
● ヘルメット スピーカー ×1個（2個）
● 充電用ｍｉｃｒｏUSBケーブル（データ通信時も必要） ×1本（2本）
● ユーザーズマニュアル 兼保証書×1部
● クイックマニュアル（本書）×1部
● データー通信用USBアダプターケーブル×1本
B+COM SB5Xの構成
B+COM SB5Xは、
下記のような構成になっています。
スピーカー固定用 ベルクロテープ
スピーカーをヘルメットに固定します。
外面が接着シート、内面がファスナーなので、
スピーカーの取り外しが簡単です。
必要に応じて間に調整パッドを入れてください。
クリップ使用
クリップ＆保護ラバー
ヘルメットの帽体に挟み込んで固定します。高い固定力とフィット感に優れています。保護ラバーはヘルメットへの傷つき防止と、グリップ力を高めます。
貼り付け使用
面ファスナー
外面が接着シート、内面がファスナーなので、ベースの取り外しが可能です。
両面粘着シート
外側、内側ともに接着シートなので、ベースの脱着はできませんが、面ファスナーよりもフィット感が良好です。
（粘着面）
スピーカー 固定用 調整パッド
ヘルメットのイヤーホールが深い等の場合は、パッドで調整してください。
ビスを外し クリップを付ける
ヘルメット スピーカーR/L
径44mm、厚み約8mmの薄型、高音質ステレオスピーカーです。
本体ユニット
フェイスプレートはオプションでお好みのカラーに着せ替えが可能です。
アームマイク
風切り音を軽減する高性能デジタルECMです。スポーツジェットタイプ、ジェットタイプにおすすめです。
アームマイク用 スポンジ
マイクに被せる事で物理的に風切り音を軽減します。
必ず使用してください。
マイクレス キャップ
音楽やナビの音声などを聞くだけの時、マイクレスキャップを使用すればマイクが邪魔にならずスマートかつ快適に音声を聞けます。
※出荷時に本体装着
ワイヤーマイク
フルフェイスやシステムヘルメットに最適なマイクです。
システムタイプ（フリップアップ）、スポーツジェットタイプの一部ではチークパッド内に仕込むことで快適な使用感が得られます。口元にゆとりが無いフルフェイスの場合もチークパッド内に仕込むのも有効です。
ワイヤーマイク用 スポンジ
フルフェイスの口元にマイクを設置する場合は必ず使用します。スポンジを口元に貼り付け、スポンジのポケットにマイクを挿入する事で物理的に風切り音を軽減します。
ヘルメットへの取り付け手順は裏面をご覧下さい。
使用方法
B+COM 1 ボタン
デバイスボタン
LED
ボリュームダイヤル（15段階で調整可能）
B+COM 2ボタン
STEP1 電源を入れてみよう
電源ON
クリックしたまま、
上へ約2秒間回します。
LED 青1秒間点灯
電池残量通知
LEDと音声で電池残量を知らせます。
LED
HIGH…青1秒間点灯
MID … 青＋赤1秒間点灯
LOW… 赤1秒間点灯
サウンド
HIGH…「B+COM Let's Go !」
MID …「Battery MID.」
LOW…「Please Charge」
スタンバイ
操作を待機している状態（電源を入れた後に、なにも操作していない状態）です。
LED 青点滅
電源OFF
クリックしたまま、
下へ1.5秒間回します。
LED 赤1秒間点灯
サウンド Shut Down
初めて使用するときは、必ず充電してください。
STEP2 B+COM同士で通話してみよう
デバイスとの接続でのみご使用の方は、STEP3へ
Ⅰ B+COM同士をペアリング（初期登録）する。
① 電源をONにしてスタンバイ状態にします。 <両機とも> LED 青点滅
② 3秒間長押しします。 <両機とも> LED 赤高速点滅 サウンド「B+COM 1 Pairing」
③ 1回クリックして接続相手を探します。 <片方> LED 赤中速点滅 サウンド「B+COM 1 Calling」
④ 相手機が下記状態になればペアリングは完了です。 LED 青点滅
・一度ペアリングを行えば、電源のON/OFFを行っても登録情報は消えないので、電源を入れてすぐに接続が可能です。
・上記手順と同様に、B+COM 2ボタンにもペアリングが行えます。(必ず同じボタン同士でペアリングを行ってください)
→1台のB+COMに2台のB+COMの接続が可能です。
・ペアリング中は、ペアリングする機体以外のB+COMの電源をOFFにしてください。
Ⅱ B+COM同士で通話する。
① アンテナを立てる
② 1回クリックして通話接続相手を呼び出しします。 <片方> LED 青点滅 サウンド「B+COM 1 Calling」
③ 相手機は着信を認識すると着信のコール音が出力され自動で通話が開始できます。 LED 青点滅
④ 通話中にB+COM1ボタンを1回クリックすると、通話は終了します。 <どちらか片方> LED 青点滅
最大4人でグループ通話
以下の①、②、③の組みでペアリングした後、①→②→③の順番で呼び出しを行うと4人でグループ通話が可能となります。⇒の方向でのみ呼び出し接続が可能となっています。
A B C D
クリック
※必ず、同じボタン同士でペアリングすること
STEP3 スマートフォンと接続して電話と音楽機能を使ってみよう
Ⅰ B+COMとスマートフォンをペアリング（初期登録）する。
① B+COMの電源をOFFにします。
② クリックしたまま、上へ5秒間回します。 LED 青＋赤高速点滅 サウンド「Device Pairing …」
③ スマートフォンのBluetooth機能をONにして、「周辺機器を検索」(表現は機種により異なる)します。検索結果の中から【 B+COM5】を選択します。
PINコード(認証コードまたはパスキー)の入力を求められる場合は「0000」を入力します。
④ スマートフォンで「接続しました」等が表示され、B+COMが下記状態になればペアリングは完了です。 LED 青点滅
・一度ペアリングを行えば、電源のON/OFFを行っても登録情報は消えないので、電源を入れてすぐに接続が可能です。
・ペアリング中は、ペアリングする機体以外のB+COM(Bluetooth機器)の電源をOFF(またはBluetooth機能をOFF)にしてください。
Ⅱ ハンズフリーで通話する。
接続
①スマートフォンのBluetooth機能をON
②B+COMの電源をONにします。
③スマートフォンで「接続しました」等の表示が出れば、接続完了です。※
LED 青点滅
着信/通話
接続中のスマートフォンに着信があると、スピーカーから電話の着信音が聞こえます。
1回クリックして通話開始します。通話が終わったら、もう一度クリックして終話します。
発信
接続中の携帯電話の最新発信履歴にリダイヤル発信可能です。
3秒間長押ししてリダイヤル発信します。通話が終わったら、1回クリックして終話します。
サウンド Redialing
※B+COMの電源ON後、6秒間のみ自動で接続します(オートコネクト機能)。未接続のまま6秒間を過ぎた場合は、
ボリュームダイヤルを上に1回上げて接続をしてください。(マニュアルコネクト ※ボリューム操作が機能しない時のみ有効)
Ⅲ 音楽を聴く。
接続
基本的に【Ⅱ.ハンズフリーで通話する】にて接続操作を行えば、この操作は不要です。未接続の場合は、Ⅱの接続操作を行ってください。
再生/一時停止
接続中のスマートフォンで音楽を再生するとスピーカーから音楽が聞こえます。
1回クリックすると一時停止します。もう一度クリックすると再生開始します。
曲の頭出し/スキップ
ボリュームダイヤルを上に1秒間回すとスキップします。
下に1秒間回すと頭出しします。